

NTVP

30億円のファンド

2月設立分から半年で

独立系ベンチャーキャピタルの日本テクノロジーズベンチャーパートナーズ投資事業組合（NTVP、東京・文京、村口和孝代表、03・3815・8641）

合（ファンド）を設立した。二月に設立した三本目のファンドの投資がほぼ終わったことから、約半年という短期間で四本目のファンドを設立する。

は三十億円弱の投資事業組

NTVPは創業期の企業

や起業家に単独で数億円規模と多額を出資すると同時に、村口代表が投資先企業の社外取締役に就任して経営に参加する。投資先の中から画像処理システム開発会社、イメージワン（東京・新宿）など株式公開を決める企業が出始めており、新ファンドには二十八億三千万円が集まった。十月までに追加出資で三十億円前後になる見通し。

投資対象は主に情報技術

（IT）分野のベンチャー企業で、NTVPが資本政策や財務、公開準備などを支援する。NTVPは村口氏がベンチャーキャピタリストとして個人で運用責任を持ち、主に個人投資家から資金を集めている。